

# 「下安松東土地区画整理準備組合の結成報告及び今後の街づくりに向けた説明会」の概要

## 《開催日時・会場・対象者》

---

- ・開催日時：平成30年9月29日（土） 午後2時から午後2時45分まで
- ・会場：松井まちづくりセンター 1階 ホール
- ・対象者：下安松東区域の土地所有者335名、説明会参加地権者数：30名

## 《説明会の趣旨》

---

下安松東側区域では、今まで発起人会で今後の街づくりに向け検討を重ねてまいりましたが、この度、土地区画整理事業を実施するための具体的な検討を進める組織として平成30年8月19日に「所沢市下安松東土地区画整理準備組合」が結成されました。

このことから、市街化区域編入が予定される区域内の地権者の皆様への情報提供として、これまでの経緯、市街化区域への編入、今後の予定及び固定資産税・都市計画税についての説明会を開催しました。

## 《主な質疑》

---

(地権者)

道路、公園等の位置はこれから変更が可能ですか、可能であれば実際にいつ頃決定になりますか。

(双葉)

道路、公園等の位置については、今後、測量などを行い、高低差等を正確に調べ、道路の配置も含めて調整池や公園の配置について検討し、今後のスケジュール上、なるべく早く決定できるよう進めていきたいと考えています。

(地権者)

土地区画整理を行う黄色箇所と土地区画整理を行わないオレンジ色の斜線箇所の境界にある道路については、整備をせず今のままですか。

(双葉)

オレンジ色（幅員6m以上）、青色（幅員5m以上）、茶色（幅員4.2m以上）で着色している箇所は土地区画整理で整備し、着色されていない道路は、現在の計画では整備しない予定です。

(地権者)

市街化区域に編入する場所は、建蔽率、容積率はそのまま引き継がれるのでしょうか。

(市)

建蔽率、容積率はまだ決まっていますが、基本的に現行を踏襲すると考えていま

す。住居系の用途地域を基本として、今後、どのような街並みにするかによって、建蔽率、容積率を検討していくことになります。また、現行より厳しくなるような設定はしない予定です。

(地権者)

オレンジ色の斜線箇所、狭い道路もあるが市街化区域にできるのでしょうか。

(市)

オレンジ色の斜線箇所は、幅員4m以上の道路に接しているなど、既に一定の整備がされているため、現時点では、土地区画整理の区域に含めずによいと考えています。

ただし、今後、準備組合で検討していく過程で、土地区画整理地区に含まれる可能性はあります。

(地権者)

東西に抜ける道路があると良いと思います。

(双葉)

道路は、幅員6mの骨格道路を県道（県道練馬所沢線：小金井街道）に接続することを重視していますが、計画するに当たり制限があり、東西道路を計画することは現状難しい状況です。

(地権者)

所沢駅から上安松に伸びる道路が計画され、その道路は東所沢まで伸びる予定だと思いましたが、もう断念したのでしょうか。

(市)

北秋津・上安松地区から東所沢への東西道路は、正式決定したものではなく構想の道路です。下安松東地区の発起人会でも東西に抜ける道路の検討もしましたが、武蔵野線を横断するなど、事業費がかかり、地権者の負担等も大きくなることから、今回の土地区画整理事業で道路を設けることは難しい状況です。

(地権者)

先日送付された「測量のお知らせ」の測量作業案内図の範囲が計画図（案）の区域より広がっていますが、その理由を説明してください。

(双葉)

事業区域だけでなく、周辺の現況調査や測量するために基準となる杭を設置しなければならないことなどから、若干区域外も測量することになります。

【要望】

(地権者)

準備組合を中心に計画していくと思いますが、ぜひ、次世代の子供たちに誇れるような街づくりをしてほしいと思っていますので、要望としてよろしくお願いします。